

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います

報道関係各位

生きているミュージアム **NIFREL**

『 **NIFREL** ×  国立民族学博物館 National Museum of Ethnology × **ACTUS** 』によるトークセッション
「眠りに目覚めよう ～生きものと人の“すみか”と、より良い眠りの工夫～」参加者募集！

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL（ニフレル）」では、2016年5月15日（日）に、トークセッション「眠りに目覚めよう～生きものと人の“すみか”と、より良い眠りの工夫～」を開催し、これに参加する50名様を募集いたします。



春夏秋冬や昼と夜、1ヶ月、そして1日といった、時とともに巡る変化には色々なリズムがあります。これは地球の公転や自転、そして太陽と月が奏でる昼夜交代といった基本的なリズムです。私たち人間も含め、生きものはこの自然のリズムに沿って暮らすことが心地良く、そのためにぐっすりと眠ることができる“すみか”は、生きていくために不可欠です。そこで、生きものと人の眠りの“同じこと・違うこと”の中から、その寝方や理由にヒントを得て、元気に暮らすためのよりよい眠りのアイデアについて、トークセッションを行います。

このトークセッションは、ニフレルで開催中の『春にふれる「生きものすみか」』（平成28年3月30日資料提供済み）の関連イベントとして、ニフレルが連携協力協定を締結している国立民族学博物館とともに開催するものです。当日は、ニフレルの小畑館長、国立民族学博物館の野林教授による講演のほか、ライフスタイルストアの先駆けとして、日本の生活デザインの質的向上に貢献する(株)アクタス、さらには京都大学大学院からもゲストをお招きし、トークセッションを展開します。なお、当日ご参加の皆様には、(株)アクタスよりイタリアのブランドCULTI（クルティ）のキャンドルをプレゼントします。

【眠りに目覚めよう ～生きものと人の“すみか”と、より良い眠りの工夫～】

《講演1》「ニフレルスリープ ～生きものいろいろな寝方～」 小畑洋（ニフレル館長）

《講演2》「起床天決 ～台湾の島の暮らしのねむりかた～」 野林厚志（国立民族学博物館教授）

《講演3》トークセッション「眠りに目覚めよう！～生きものと人の“すみか”とより良い眠りの工夫～」

小畑洋 × 野林厚志 × 吉田桜子（株式会社アクタス）進行：中村孝之（京都大学大学院／生活空間研究室代表）

本イベントに関する報道関係のお問い合わせ

お問い合わせ：NIFREL（ニフレル） PR・広報担当 田井、西前

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL:nifrel.info@kaiyukan.com

募集要項

【募集要項】

- 日時 / 場所 2016年5月15日(日) 13:30～15:00 ニフレル3階セミナールーム
- 対象 / 人数 大人(16歳以上または高校生) 50名様 ※15歳以下の方の同伴はご遠慮願います。
- 料 金 無料 (ニフレル入館料が必要)

【応募方法】

下記の①～③を明記のうえ、下記の専用アドレスにお申込みください。

専用アドレス nifrel_talk@kaiyukan.com

- ①代表者の氏名、年齢
- ②代表者の住所、メールアドレス、携帯電話番号
- ③同伴者の氏名、年齢 (同伴者1名までご応募いただけます。)

※個人情報はいイベントに関わる目的にのみ使用いたします。

【締 切】

2016年5月8日(日) 着信有効

【当選発表】

応募者多数の場合は抽選を行い、当選された方のみメールでお知らせし、参加証を郵送いたします。

- お問 合 せ NIFREL 事務局 0570-022060 (ナビダイヤル)
- 主 催 生きているミュージアム「NIFREL」
- 共 催 国立民族学博物館
- 協 賛 (株)アクタス

登壇者ご紹介



小畑洋 (おばた ひろし)

生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」館長

海遊館開業当初より飼育担当として勤務し、国内では類を見ないジンベエザメの陸上長距離輸送や、希少なイトマキエイの飼育展示にも世界で初めて成功する。海遊館最大のリニューアル「新体感エリア」及び「生きているミュージアム “ニフレル ”」建設の中心人物となって構想・監修を行う。2015年4月にニフレル館長に就任。



野林厚志 (のばやし あつし)

国立民族学博物館文化資源研究センター・センター長

大学時代から台湾に通い、人間と動物との関係に関わる人類学、民族考古学のフィールド調査を行ってきた。とくに、イノシシやブタは食べてしまいたいくらい愛しており、それらに関わる民族文化や社会の規範に強い関心をもつ。最近の著書に『台湾イノシシを追う』(2014年・臨川書店)等。



吉田桜子 (よしだ おうこ)

株式会社アクタス マーチャンダイジング部雑貨開発運営チームリーダー

2001年アクタス入社。テキスタイル・雑貨のバイヤーを経て、現在、雑貨チームのリーダー。年6回程度、商品の買付け・開発でスウェーデン、フランス、イタリア、タイ、インドなどに赴く。スーホルムカフェのバッグ企画開発の他、最近ではPBブランドの生地開発、欧州テキスタイルブランドのインポートなどを行う。



中村孝之 (なかむら たかゆき)

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻研究員/生活空間研究室代表

子どもから高齢者までの様々な暮らし方や、睡眠、食生活などの生活スタイルに対応する居住空間の研究開発を実践。住宅のストック価値を高めるリノベーションのプロデュースも手掛ける。元積水ハウス(株)住生活研究所長。